

意見書案第8号

OTC類似薬の保険適用の見直しにあたり、患者への十分な配慮を求める意見書

上記の意見書を次のとおり提出する。

令和7年12月18日提出

提出者

向日市議会議員 富安輝雄
〃 米重健男

賛成者

向日市議会議員 北林智子
〃 福田正人
〃 米澤知紀

OTC類似薬の保険適用の見直しにあたり、患者への十分な配慮を求める意見書

公的医療保険制度は、国民皆保険の理念のもと、必要な医療を誰もが受けられることを目的としており、その持続性を確保することは重要な課題である。一方で、制度見直しによって患者が必要な医薬品を使用しにくくなる事態は、決して招いてはならない。

現在、厚生労働省において、医師の処方箋が必要な医療用医薬品のうち、市販されている一般用医薬品(OTC医薬品)と成分が類似する、いわゆるOTC類似薬について、保険適用の見直しを含む議論が進められている。

現時点で具体的な方針が決まったものではなく、OTC類似薬を保険給付の対象外とした場合、受診遅延による健康被害や飲み合わせリスク、患者負担が過大となるといった様々な問題が生じるといったご意見が多くある。

OTC類似薬そのものを保険給付の対象外とはしない前提で、患者の状況や負担に配慮した別途の負担を求めるについて、議論されている状況である。

よって国におかれては、OTC類似薬の保険適用の見直しについて、患者への影響を十分に検証し、医療現場及び患者の実態を踏まえた丁寧な議論を行うとともに、必要な医薬品へのアクセスが損なわれることのないよう、実際の制度設計に当たっては、対象となるOTC類似薬の範囲や、配慮が必要な方の範囲などについても丁寧に検討することを強く求める。

以上、地方自治法第99条に基づき意見書を提出する。

令和7年12月18日

京都府向日市議会